



## 地域と教育 16号; 表紙, はじめに, 表紙, 奥付

雑誌名	地域と教育 : 筑波大学博士課程人間総合科学研究 科学学校教育学専攻「社会科教育学演習I」調査報告
巻	16
ページ	i-iii
発行年	2017-08-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00150390">http://hdl.handle.net/2241/00150390</a>

# 地 域 と 教 育

第 16 号

—新潟県岩船郡粟島—

2017 年 8 月

筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻

「社会科教育学特講」調査報告

## はじめに

第16回となる「地域と教育」の調査地は、新潟県粟島である。粟島の行政区は、岩船郡粟島浦村で、2015年の国勢調査で人口370、高齢化の進んだ村である。島の面積は、10km<sup>2</sup>に満たない小さな島であるが、島の周囲を巡る周回道路は、アップダウンの激しい道で、過酷なサイクリングコースとしても知られている。粟島は、村上市の岩船港から35km、高速船で55分、フェリーで1時間30分の距離にある、日本海の島である。集落は、本土に面した東の内浦と日本海を望む西の釜谷の2つである。約5000年前から人が住んでいたといわれ、近世では、北前船の風待ちと食糧の補給地として重要な拠点であった。

粟島には、粟島浦村立粟島浦小学校中学校がある。以前は、釜谷集落に分校があったが、すでに廃校となっている。今回は、粟島浦小学校中学校を核としながら、粟島の地域調査を実施した。調査は2016年8月28日から4日間の現地調査を予定していたが、台風の接近により8月30日以降は船の欠航が決まっており、いつ再開するか未定とのことで、28、29日の2日間の調査とした。2日間の調査のため、現地調査は十分とは言えないが、役場や学校関係者、住民の方々の協力を得て、資料を収集し、論稿をまとめるまでにいった。

短い滞在時間ではあったが、関係者の方々からお話をうかがい、資料を収集させていただいた。粟島浦村教育委員会教育長の川村三千男氏、教育委員会の脇川秀幸氏、粟島浦村立粟島浦小学校中学校校長の星和富氏、同小学校教頭の新野智氏、粟島浦観光協会松浦拓也氏をはじめ、役場、学校関係者、民宿治郎作の方々といった住民の皆様には、大変お世話になった。このように多くの方々の協力のもとで調査を進めることができた。皆様には心より御礼申し上げます。今回の調査報告が、少しでも地域の教育、人々に還元できれば幸いです。

なお、まだまだ調査を深めたいこともあるので、第17回の「地域と教育」の調査地は、引き続き粟島とさせていただくこととした。より一層調査内容を深め、学問的にも、社会貢献としても寄与できるように、調査を続けていきたい。

2017年7月

井田 仁康

## 目 次

はじめに	井田 仁康・・・・・ i
目次	ii
図 「新潟県岩船郡粟島」	iii
離島における福祉教育の開発 —新潟県粟島浦村を事例として—	呂 光暁・・・・・ 1
社会的課題の解決を目指す取り組みの可能性 —新潟県岩船郡粟島浦村粟島を事例に—	華井 裕隆・・・・・ 23
小規模小学校における複式学級の現状と課題 —新潟県粟島浦小学校社会科を中心に—	久保園 梓・・・・・ 37
生活科における地域と連携した環境教育カリキュラムの構想 —新潟県粟島での子どもの自然体験活動を手がかりに—	得居 千照・・・・・ 58
観光と教育による地域づくり —新潟県粟島を事例に—	大脇 和志・・・・・ 75
粟島における伝統・文化に対する子どもの意識 —「釜谷獅子舞」についての質問紙調査を通して—	早瀬 博典・・・・・ 99
調査の概要	120

地域と教育 第 16 号 —新潟県岩船郡粟島—

筑波大学博士課程人間総合科学研究科教育学専攻  
「社会科教育学特講」調査報告

発行日 2017 年 8 月 25 日

発行者 井田仁康（筑波大学人間系教授）  
〒205-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
Tel & Fax 029-853-6731

印 刷 株式会社いなもと印刷  
〒300-0007 茨城県土浦市板谷 6 丁目 28-8  
Tel 029-826-1221 Fax 029-826-1080